

平成27年度 保育所職員研修会を開催しました。

【テーマ】

今、保育所に何が求められているか
～子どもが育ち、親が育つ専門性とは～

【講師】

新渡戸文化短期大学
教授 汐見 和恵氏

【益田会場】

- 期 日：平成27年7月25日(土)
- 場 所：島根県芸術文化センター
グラントワ 小ホール
- 参加者：107名



参加者の声

- 保育の原点に戻る機会となった。自分の保育を振り返ったり、考える機会となり、良かった。
- 環境を考えていきたい。一人ひとりが環境であることを意識していきたい。
- 具体的な話や事例をたくさん話していただき分りやすかった。
- 自分の園を改善したいと考えていたところの研修参加となり、勉強になった。園に持ち帰り、全職員で見直していきたい。
- 自分の保育に自信が持てない中、自分の保育を省み自分の望む前向きな保育への励みになったり、これまでやってきた保育の確信ももてた気がする。
- 子どもが自分で考え、遊び、体験、経験する力を伸ばす大切さを強く感じた。
- 事故が起こっていない園の事例が参考になった。
- 保育士の専門性についてあらためて考えさせられた。
- 子ども、保護者の気持ちを受け止めたり、共感することの大切さを学び、行動しようと思えた。
- 保護者の生活実態を知り、話を聞いたり、批判するかわりや言葉にならないよう気をつけなければならない。

VOICE

【隠岐会場】

- 期 日：平成27年9月5日(土)
- 場 所：隠岐島文化会館 集会室
- 参加者：78名



参加者の声

- なぜ今の時代に保育所が必要なのか、私たちに何が求められているのか、よくわかった。今まで家庭や母親に求めていたものも大きかったが、今それを求めることより、自分が子ども達に何をしてあげるかを考えることが重要であると再認識した。自分の園のあそびの環境、みんなで考えてみたいと思った。
- 職員間で共有する事、心を育てる等、日々のあわただしさの中で見過ごしていた事を改めて考えさせられるよい機会になりました。また、保育士は感性をいつまでも磨き続け、園の活性化に努めていける様、今日の先生のお話を聞き、考えさせられました。
- 事例を通しての話がとても分りやすくて良かった。子ども中心の保育のいいところがすぐ伝わってきた。自分たちが目指す保育についていいヒントをいただいた。(職員間の共有について)
- 保護者支援として、自分の保育が伝えられること、専門性を認めてもらうこと、今より昔の方が体を使って遊ぶのが自然にできていたな。など、当たり前なことだけど、振り返ると改めて考えさせられる内容でした。また、グループワークは子どもにとっても有効なことで日々の保育でも手立てとして意識して使っていきたいと思いました。
- 園庭での遊びの工夫、子ども達がしたいことが出来る環境を整え、満足するまで遊ぶことは大切だと改めて感じる事が出来ました。また、子どもがしていることを「危ない」と何でも止めるのではなく、子どもの力を信じ、見守ることも大切だと思いました。

VOICE

社会福祉法人改革を踏まえた「社会福祉法人における地域広域活動（地域貢献活動）」を考える圏域会議を開催しました。

■内容

- ①「社会福祉法人制度改革の全体像と求められる地域公益活動の考え方について」
- ②「社会福祉法人における地域公益活動の具体的実践に向けた県社協における取組（支援）方針について」

■説明者

- ①島根県保育協議会事務局
- ②島根県社会福祉協議会企画部



編集後記

この春から役員改選で新しい県保協組織になりました。新体制のみなさんの声をお届けしました。新しい風を感じていただけましたか？総務広報委員会も寄稿して下さる方々のご協力のもと、「読んでいただける広報作り」をめざします。

島根県

保育協議会だより

第52号

発行日 平成27年9月30日 発行者 島根県保育協議会 編集者 総務広報委員会

新体制でスタートしました

会長 山口 記由 (浜田：ちどり第2保育所)

6月の総会におきまして、中山前会長のあとを受け、会長職を務めさせていただきます。

県西部からは20数年ぶり、浜田からも初の会長選出ということで緊張の毎日ですが、齢50にして自身に与えられた試練と前向きに捉え、日々精進しております。

先般、県知事の招集による島根の人口減少対策を目的とした「県内各界の意見を聴く会」が開催され、医療・福祉の分野の代表として出席して参りました。

「次の子が産まれたらまたこの保育所に預けたい」

「下の子どもぜひこの保育士さんに担任してもらいたい」

保育現場で働くひとりひとりの努力が、島根県の出生率を全国の上位に押し上げている一因です。と溝口知事をはじめ各業界を代表する皆さんにお伝えしました。

県内の保育現場や職員の皆さんを、全力で応援させていただく保育団体が島根県保育協議会です。

この2年間、ご指導の程よろしくお願い致します。

出雲市民会館では温かいエールありがとうございました。



副会長 森山 幸朗 (雲南：おおぞら保育園)

引き続き副会長を受けることになりました。格差の広がりや貧困の連鎖、とりわけ子どもの貧困率の上昇が問題になっているなか、福祉としての保育、権利としての保育がますます重要になっています。すべての施設・事業において質の高い保育・教育が保障されるよう共に力を尽くしましょう。



副会長 吉村 里恵 (益田：原浜保育所)

清流日本一の高津川が流れる益田市。川や海そして山などの自然に囲まれ、子どもが育つには最高の環境だと私たちは思っています。でもまだまだできることはあるのでは…、そんな島根県の西の端の保育の様子や現状、現場の声なども届けていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

副会長 古川 泰道 (出雲：浜山保育園)

今総会より、副会長を仰せつかりました。山口会長を精一杯サポートしていきたいと思ひます。そして、島根県保育協議会の活動を通して、子どもたちのより良い育ちの保障ができればと考えています。



委員会紹介

総務広報委員会

私達総務広報委員は、保育協議会活動のひとつひとつがキラキラと輝き、会員の皆様と一緒に総務的に取り組み、そして盛り上げて「島根県は良い活動しちょうねー!!」と自慢できる位の大きな気持ちでがんばります。



総務広報副委員長
大場 弥生
(邑智：おおち保育園)



総務広報委員 **松本 文子** (邑智：東保育所)



総務広報委員長
杠 佳子 (松江：恵曇保育所)

予算対策委員会

予算対策委員長 **岩倉 善光** (大田：みどり保育園)

この度初めて県の役員となりました。自身の無知を恥じながらも、自分にとっても学びの絶好の機会として精一杯取り組みたいです。皆様から褒めて伸ばしていただけると幸いです。2年間よろしくお願い致します。



予算対策副委員長
朋澤 智弘 (かのあし：双葉保育所)



研修委員会

私たち研修委員は県保協が主催する各種の研修に参加して良かったと思っただけのよう力を合わせて活動に取り組めます。どうぞよろしくお願い致します。



研修委員
若槻 紀子
(雲南：八川幼児園)



研修委員長
岩田 博子
(浜田：波佐保育園)



研修副委員長
森野 洋子
(江津：めぐみ保育園)



研修委員
宅野 文子
(かのあし：青原保育園)

委員会名	担当部門
総務広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合的企画・関係団体との連絡調整に関すること。 ● 組織の拡大、充実に関すること。 ● 情報収集、広報に関すること。 ● 保育所運営の諸問題の調査研究に関すること。 ● 総会に関すること。
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所職員の資質向上のための研修に関すること。 ● 研修会の企画、立案に関すること。 ● 保育制度、内容の調査研究に関すること。 ● 島根県保育研究大会に関すること。 ● 中国地区保育研究大会に関すること。
予算対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 本会の財政に関すること。 ● 保育事業費の資料収集に関すること。 ● 保育事業の予算確保対策に関すること。 (国、県、市町村に対する運動)